

教育委員会

教育行財政	X VI - 1
学校教育	X VI - 3
社会教育・文化財	X VI - 11
博物館	X VI - 14
図書館	X VI - 19
学校人権教育	X VI - 23
教育・視聴覚センター	X VI - 25

教育行財政

● 教育委員会開催状況 (令和2年)

会 議	議 案 件 数
14回	34件

● 審議状況 (令和2年)

	制 定	廃 止	全部改正	一部改正
条 例	—	—	—	1 件
規 則	4 件	—	—	8 件
規 程	—	—	—	1 件
要 綱	—	—	—	—

● 市内の教育機関 (令和2年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	一校	一人	一校	一人	2校	1,300人	2校	1,300人
高校全日制	—	—	9	7,334	3	2,258	12	9,592
定時制	—	—	2	732	—	—	2	732
通信制	—	—	1	927	1	673	2	1,600
中学校	22	7,760	—	—	3	707	25	8,578
小学校	37	15,737	—	—	1	395	38	16,260

● 市内児童・生徒数の推移（公立） (令和2年5月1日現在)

年度	小 学 校		中 学 校	
	計		計	
平成20	18,469		8,613	
21	18,496		8,501	
22	18,136		8,659	
23	17,795		8,811	
24	17,523		8,886	
25	17,299		8,822	
26	16,843		8,748	
27	16,513		8,828	
28	16,285		8,667	
29	16,185		8,345	
30	16,133		7,920	
令和元	15,865		7,871	
令和2	15,737		7,760	

● 教育費

(単位：千円)

費 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教 育 費 (A)	8,693,825	12,952,260	10,703,718
教 育 総 務 費	2,358,269	2,688,741	3,528,576
小 学 校 費	3,204,384	5,882,101	3,282,717
中 学 校 費	1,178,783	2,421,811	2,194,630
幼 稚 園 費	884,692	840,475	750,183
社 会 教 育 費	1,049,081	1,119,131	947,611
保 健 体 育 費	18,617	—	—
一 般 会 計 歳 出 額 (B)	122,575,511	123,219,150	152,689,707
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	7.1%	10.5%	7.0%

※他部局での執行分を含む。

※数値は四捨五入していますので、合計が合わない場合があります。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	136,796	130,029	142,778
中学校	111,309	113,120	122,982

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年 度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	1	476,029	1	1,449,784	1	231,342
	大規模改修	2	266,955	2	486,797	—	—
	空調施設整備	37	13,566	37	1,454,811	37	43,040
中学校	校舎新增築	—	—	—	—	—	—
	大規模改修	—	—	2	587,920	2	316,080
	空調施設整備	22	6,683	22	675,802	22	21,973

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校 種	区分 (備品)	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	22,164	—	21,381	—	37,570	—
	保 健	1,933	406	1,611	—	7,236	—
	給 食	10,487	4,872	9,983	6,786	25,381	—
中学校	理科教育等教材・管理	23,382	—	44,878	—	22,529	—
	保 健	1,037	—	928	—	4,626	—
	給 食	—	—	—	—	—	—
合 計	59,003	3,146	78,781	6,786	97,342	0	

・学校教育

● 第3次四日市市学校教育ビジョン【平成28～令和3年度】

○ 目指す子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

子どもたちが自立した人間としてたくましく生きていくために、また、他者と協働し、共に未来を切り開いていくために「生きる力」「共に生きる力」を育むことを基本理念に据える。

自身が身に付けた知識・技能を実生活で応用するとともに他者と協働しながら問題を解決していく主体的・能動的な能力としての「社会人になっても通用する問題解決能力」の養成を図る。

○ 「輝く よっかいちの子ども」実現のための6つの基本目標

・子どもにつけたい力

(1) 確かな学力の定着

主体的に学習に取り組む姿勢と、基礎的基本的な知識や技能及び思考力・判断力・表現力を養う。

(2) 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

学ぶことと社会とのつながりを意識した様々な活動を通して、基本的生活習慣や規範意識、自己有用感、他者と協調し思いやる心など、豊かな人間性を育む。

また、自治能力や、他者との豊かな人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を育む。

(3) 健康・体力の向上

運動やスポーツに親しみ、運動習慣を身に付けることによって、たくましく生きるための体力の向上を図る。

また、自他の健康・安全について実践していく力を養う。

・子どもを支える学校づくり

(4) 学校教育力の向上

学校経営の充実、教職員の資質・能力の向上、安全・安心の教育環境の整備、連携を生かした教育や個々のニーズに応じた教育を推進する。

(5) 地域とともにある学校づくり

学校・家庭・地域がそれぞれの教育的な役割と責任を自覚し、生活リズムの向上など家庭の教育力向上を支援するとともに、家庭や地域と連携・協働した教育活動に取り組む。

(6) 四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

産業と環境、文化が調和するまち四日市ならではの地域資源を教育に生かすことにより、ふるさと四日市に誇りと愛着を持ち、社会の一翼を担う人材を育成するための教育を推進する。

● 平成30年度～学校教育指導方針

(指導の力点) 生きる力・共に生きる力の育成

- ・連続性・系統性を重視した教育による「なめらかな縦の接続」の実現
- ・家庭、地域、関係機関等と連続した「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・四日市の地域資源を生かした「ふるさと四日市にふさわしい学び」の実現

(具体方針)

確かな学力の定着

生きて働く基礎的・基本的な知識・技能 問題解決能力を支える「思考力・判断力・表現力等」

グローバル化社会に向けた外国語活動・英語教育 ねらいに応じた少人数指導 教育効果を高める

ICTの活用 何が身についたか～指導と評価の一体化～ 学びに向かう力を育む家庭学習遊びを

通しての「学び」

豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

生き方をみつめる学習を通して育む道徳性 組織で取り組む生徒指導 人権を尊重する行動力を育成するための人権教育 学校図書館の機能を生かした読書活動 子どもの発達段階に応じたキャリア教育 自己と集団の資質・能力を養う特別活動

健康・体力の向上

生涯にわたって運動に親しむための体力・運動能力 心と体を一体としてとらえた健康教育 健やかな心身と豊かな人間性を育むための食育 日常生活に生かす安全教育

学校教育力の向上

マネジメント機能を高めた特色ある学校・園経営 確かな教師力を持った教職員 幼こ保小中の連携を生かした教育「学びの一体化」 特別な教育的支援 ～途切れのない支援～ 共に学び、共に生きる力を育む多文化共生教育 現代的な諸課題に対応する教育

地域とともにある学校づくり

子どもたちの豊かな成長を促す家庭・地域の教育力 地域と協働する四日市版コミュニティスクール

四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

歴史・文化・自然を活用した教育 高度なものづくり産業と連携した教育 身近な素材から出発し社会参加につながる環境教育

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (R2. 5. 1 現在)

学級の種類	小学校		中学校	
	校数	学級数	校数	学級数
知的障害	30	36	18	18
自閉症・情緒障害	36	42	17	17
肢体不自由	10	10	0	0
弱視	3	3	0	0
難聴	2	2	1	1
病弱虚弱	1	1	0	0
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	4	6	2	2

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (R2. 5. 1 現在)

区分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	難聴	病弱虚弱	計
小学校	190	218	13	3	9	1	434
中学校	93	78	0	0	1	0	172
計	283	296	13	3	10	1	606

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。

・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

また、成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式による中学校給食を目指して、令和5年4月稼働を目標に、(仮称)四日市市学校給食センターの整備を進めている。

1. 学校給食実施状況 (令和2年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 （デリバリー方式）
実 施 校 数		37校	22校
対 象 人 員		15,737人	7,760人
調 理 員 数		※ 258人	—
1食あたり額	パ ン	57円56銭	—
	米 飯	64円11銭	—
	牛 乳	52円92銭	—
	パ ン 副 食	151円42銭	—
	米 飯 副 食	144円87銭	—
1 食 当 たり 経 費		261円90銭	300円
年 間 実 施 回 数		183回	180回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,600円	(一食)
	低 学 年	4,400円	300円

※調理員内訳 正職員36人 再任用職員3人 パート職員97人 民間委託122人

2. 栄養摂取量 (小学校) (令和2年度)

エ ネ ル ギ ー	632kcal	
た ん 白 質	25.2 g	
脂 質	18.6 g	
カ ル シ ウ ム	369 mg	
ビ タ ミ ン	A	200 μgRE
	B ₁	0.45 mg
	B ₂	0.58 mg
	C	30 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額 (金額単位：千円)

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
小学校	845	7,507	854	8,117	758	9,674
中学校	1,047	14,230	1,008	13,497	844	9,288
合 計	1,922	21,737	1,862	21,614	1,602	18,962

4. 保健担当者一覧

(令和2年5月1日現在)

職 名	配 置 状 況	人員数
学 校 医	1校1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	47人
学校歯科医		57人
学校薬剤師	各小・中学校1人	34人
保 健 主 事	各小・中学校1人	59人
養 護 教 諭	各小・中学校1人 (海蔵小・大矢知興譲小・常磐西小2人) (富田小学校巡回養護を含み2人)	63人

5. 年齢別体位と平均値

(令和2年度)

区 分		男		子		女		子	
		身長 (cm)		体重 (kg)		身長 (cm)		体重 (kg)	
		全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市
幼	5	110.9	109.3	19.2	18.2	109.9	108.2	18.9	18.2
小	6	117.8	116.4	21.8	21.3	116.7	115.3	21.3	20.8
	7	123.5	122.2	25.2	24.1	122.7	121.3	24.2	23.7
	8	128.9	127.9	28.2	27.5	128.2	127.1	26.7	26.4
	9	134.4	133.4	32.4	31.1	133.3	133.5	30.3	30.3
	10	139.9	138.9	36.8	34.4	141.5	139.8	34.5	34.2
	11	147.3	144.6	40.2	38.7	148.3	146.6	41.5	38.8
中	12	153.9	153.3	45.5	44.3	152.4	151.8	44.5	43.5
	13	160.6	159.7	50.0	49.6	155.2	154.8	47.8	47.1
	14	166.3	164.7	55.1	53.9	156.9	156.1	50.2	49.6

● 奨学金事業

1. 貸与内容

(令和2年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】 大学、短大、専修学校(専門課程)	24,000円/月 入学支度金 50,000円
【貸与額】 高校、高専、専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 40,000円

2. 貸与状況

(新規貸与者数)

年度	高校生	大学生 (専修学校)	合計
平成			
26	20	19(5)	39(5)
27	15	19(6)	34(6)
28	12	16(3)	28(3)
29	5	11(1)	16(1)
30	10	6(1)	16(1)
令和			
元	8	13(5)	21(5)
2	5	6(2)	11(2)

() は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
事 項	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

● 私学助成

(令和2年度)

区 分	教育補助
小・中学校、高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円

● 就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

令和2年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小 学 校	128,117,967
中 学 校	73,177,701
計	201,295,668

1. 小学校

(令和2年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数(人)	児童数(人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	27	382	12	4	16	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	26	438	14	2	16	7
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	15	189	6	1	7	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	41	707	23	3	26	6
塩浜	塩浜町 1	平 26. 4. 1	15	199	7	1	8	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	38	686	20	4	24	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	26	430	14	4	18	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	32	553	17	3	20	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	38	690	21	3	24	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	40	670	20	3	23	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	26	449	14	5	19	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	26	456	15	1	16	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	14	175	6	1	7	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	20	276	10	2	12	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	35	667	20	2	22	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	18	228	8	2	10	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	29	355	12	2	14	6
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	23	319	12	3	15	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	35	557	19	3	22	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	45	773	24	5	29	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	26	365	12	2	14	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	26	494	16	2	18	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	27	355	12	3	15	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	160	6	1	7	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	18	214	8	3	11	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	23	370	12	2	14	6
笹川	笹川六丁目 25	平 31. 4. 1	37	469	15	4	19	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	44	851	26	3	29	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	27	379	12	3	15	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	30	555	18	2	20	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	21	297	11	2	13	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	12	181	6	1	7	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	14	182	6	1	7	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	32	528	18	3	21	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	32	541	18	3	21	6
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	15	125	6	1	7	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	28	472	16	4	20	8
合 計 [37校]			995	15737	512	94	606	240

2. 中学校

(令和2年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数 (人)	生徒数 (人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	28	303	10	2	12	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	13	88	3	1	4	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	21	227	7	1	8	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	15	68	3	1	4	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	42	618	19	2	21	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	25	353	10	2	12	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	18	186	7	1	8	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	36	459	14	3	17	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	36	561	16	2	18	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	31	412	13	2	15	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	34	561	17	2	19	10
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	37	544	16	2	18	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	17	160	6	1	7	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	45	662	21	2	23	11
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	17	166	6	1	7	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	27	227	8	2	10	8
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	20	209	7	2	9	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	34	518	16	2	18	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	24	293	9	2	11	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	23	315	10	1	11	9
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	32	545	16	1	17	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	24	285	11	2	13	10
合 計 [22 校]			599	7760	245	37	282	195

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（令和2年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数 (人)	児 童 ・ 生 徒 (人)	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	26	365	13
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	36	362	11
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	33	170	7
四日市メリノール学院中学校	平尾町2800	昭39	37	180	6
合 計 [4校]			132	1,077	37

※教員数には兼務者を含む

・社会教育・文化財

● 社会教育

＜令和2年度主要事業＞

1. 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

2. 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、37小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

3. 四日市まちじゅうこども図書館事業

まちじゅうで、子どもが自然に本に触れられる環境づくりを行い、子どもの読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、四日市まちじゅうこども図書館を平成27年度から市内の店舗や医院、金融機関、事業所等で開館している。令和2年度は新たに3館を開館し、合計で104館となった。

● 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保存・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保存するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

＜令和2年度主要事業＞

1. 文化財の指定・解除

- ・「木造神像」（県指定有形文化財（彫刻） 令和3年3月24日指定）
- ・「塑造仏頭」（県指定有形文化財（彫刻） 令和3年3月24日指定）
- ・「滝川一益寄進状」（市指定有形文化財（古文書） 令和3年3月24日指定）
- ・「羽柴秀吉禁制」（市指定有形文化財（古文書） 令和3年3月24日指定）
- ・「木造男神・女神坐像」（市指定有形文化財（彫刻） 令和3年3月24日解除 県指定のため）
- ・「塑造仏頭」（市指定有形文化財（彫刻） 令和3年3月24日解除 県指定のため）
- ・「四日市萬古焼」（市指定無形文化財 令和3年1月13日解除）

2. 文化財の保存・活用

- ・久留倍官衙遺跡公園保存活用事業

【保存（整備）】久留倍官衙遺跡公園の整備

公園内植栽、八脚門避雷針設置、西側屋外トイレ下水道管敷設及び入口通路整備、道路案内標識設置工事

【活用】ガイドンス施設「くるべ古代歴史館」

企画展「久留倍官衙遺跡のこれまでとこれから」、「聖武天皇と久留倍～再現された正倉院の品々～」

イベント 久留倍官衙遺跡をまなぼう！（計3回）、くるべで火をおこそう！、ペーパークラフトでくるべの門をつくろう！、くるべで勾玉をつくろう！、市民ボランティアの研修

久留倍官衙遺跡公園グランドオープン（一般公開・記念コンサート「観月会」・くるべ古代歴史館特別開館 11/1）

出張パネル展示「久留倍官衙遺跡のこれまでとこれから」（さいくう平安の杜（明和町斎宮跡連携事業）、菰野町図書館）

講演会「壬申の乱と郡衙—久留倍官衙遺跡と弥勒寺官衙遺跡群—」（11/21）

「「万葉の花」で楽しむ くるべ古代歴史公園」及び現地見学会（2/20）

久留倍官衙遺跡出土品展（あさけプラザ 10/1～10/30）

『久留倍官衙遺跡整備ニュース vol.13』発行

- ・ユネスコ無形文化遺産・国指定無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」継承支援活用事業
 - 【保存（継承支援）】山車実測図作成（古川町・南島組）
 - 【活用】展示「四日市の文化財展」（文化会館展示棟）（1/29～1/31）
 - シンポジウム 郷土の文化遺産「文化財のちから～みんなでまもり、みんなでつなぐ～」（文化会館第3ホール/YouTube 配信）（1/30）
- ・国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」保存整備事業
 - 【保存（維持管理）】環境整備 井戸更新・出入り口改修工事設計、土地鑑定
 - ボランティアによる保全種生育地の環境保全活動（通年作業、年間26回）
 - 【活用】御池沼沢ザリガニ釣り会開催（8/10）
- ・旧四郷出張所維持管理事業
 - 【保存（維持管理）】建物管理、敷地草刈
 - 【活用】四郷郷土資料館の開館
 - 歴史的建造物現地見学会（8/1）
 - 新!!四郷ふるさとの道ウォーキング（10/25）
 - 市制123周年記念イベント 市指定文化財「旧四郷村役場」の魅力（10/25）
- ・指定文化財の整備（補助金交付）
 - 【保存】国指定無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」の中島組横幕復元新調
 - 市指定無形民俗文化財「市場町獅子舞」の太鼓復元新調と修復
- ・未指定文化財の調査
 - 【保存（調査）】文化財調査（中部・日永・四郷地区）
- ・文化財説明板等の整備
 - 【活用】〈新設〉市指定有形文化財「木造阿弥陀如来坐像」（遠生寺）説明板
 - 市指定天然記念物「桜町シデコブシ群落」案内板
 - 〈修理・移設〉市指定天然記念物「大樟」（神明社境内）説明板
- ・文化財指定地等の除草・清掃
 - 【保存】国指定天然記念物御池沼沢植物群落・国指定天然記念物東阿倉川イヌナシ自生地・国指定天然記念物西阿倉川アイナシ自生地・県指定天然記念物川島町のシデコブシ群落・市指定天然記念物桜町シデコブシ群落・県指定史跡広古墳A群・県指定史跡天武天皇迹太川御遥拝所跡・市指定史跡大膳寺跡・市指定史跡茂福城跡・市指定史跡冠山茶の木原・市指定有形文化財旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
- ・文化財パトロール
 - 【保存】埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査
- ・埋蔵文化財
 - 【保存】周知の埋蔵文化財包蔵地内での工事・開発行為等に対する調査

埋蔵文化財包蔵地において、工事・開発等が行われる場合に、遺跡の保存のために試掘・発掘調査を行う。掘削等により現状保存が困難なものについては発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管等を行う。

発掘調査…川向山添遺跡、菅野遺跡・菅野古墳群

試掘調査…斑鳩B遺跡、山の越遺跡、菅野遺跡・菅野古墳群、茂福城跡・里之内遺跡、貝野遺跡(2件)、北之脇遺跡、尾平宮前遺跡(3件)、永井遺跡、江田川遺跡、上畑遺跡、市場城跡、海星学園内遺跡、北山B遺跡、下之宮遺跡、小判田遺跡、米田遺跡、平尾城跡、小方縄遺跡、宮ノ下遺跡、北裏遺跡延べ23件

工事立会…小方縄遺跡、北中寺遺跡、宮ノ下遺跡等延べ69件

【活用】「第23回発掘展 夏休み！子どものための考古学」（四日市市立図書館 7/29～8/23）

社会教育・文化財課所蔵出土遺物見学（文化財整理作業所）

・その他

【保存】第67回文化財防火デー（文化財収蔵施設の防火査察と消防訓練 1/18～26）

【活用】出前講座等92回実施

・博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を表す建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境についても投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コスミックギャラリー、コスミックラウンジ
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	博物館常設展（時空街道、丹羽文雄記念室）
	2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、 研修・実習室
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
28年度	288日	56,454人	18,800人	63,310人	138,564人	特別展2回・企画展2回
29年度	292日	50,595人	13,735人	60,068人	124,398人	特別展1回・企画展3回
30年度	287日	50,689人	13,027人	63,389人	127,105人	特別展2回・企画展2回
令和 元年度	285日	44,816人	17,019人	54,079人	115,914人	特別展2回・企画展2回
2年度	255日	18,528人	13,044人	19,457人	51,029人	特別展3回・企画展1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（令和2年4月15日～5月17日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプラネタリウムの投映休止（令和2年3月10日～5月31日）

● 博物館事業

1. 常設展

新しい常設展は「時空街道」として、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこに暮らしの人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示に変わった。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2. 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈 特別展等 令和2年度開催 〉

- 特別展 市制 123 周年記念 奇想天外 なぞなぞ絵解き 判じ絵！ ～江戸時代からの挑戦状～
- 特別展 市制 123 周年記念 戦後 75 年 無言館展 ～戦没画学生からのメッセージ～
- 特別展 市制 123 周年記念 2020 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
- 企画展 市制 123 周年記念 昭和の暮らし 昭和の風景

〈 学習支援展示 令和2年度開催 〉

- 大昔の四日市 ー弥生時代と古墳時代ー
- 四日市空襲と戦時下の暮らし

〈 特別陳列 令和2年度開催 〉

- 館蔵品展Ⅰ「新収蔵品展」
- 館蔵品展Ⅱ「江戸時代の旅」
- 館蔵品展Ⅲ「萬古焼」
- 館蔵品展Ⅳ「お正月～丑年～」
- 館蔵品展Ⅴ「ひな飾り」

3. 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館学課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、体感型の常設展の案内をする博物館ボランティア、丹羽文雄記念室の語り部ボランティアの活動により観覧者の展示理解を深めている。また、館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4. 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5. 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらおう。

1. プラネタリウム投映事業

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトをもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができる世界最先端の技術を盛り込んだプラネタリウム機器を平成27年3月に導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組、星空番組）や夜間特別番組を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、ヒアリンググループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置し、どなたにもプラネタリウムを楽しんでもらえるように環境を整えている。

《令和2年度季節番組》

〈一般番組〉

- ・ HAYABUSA 2 —REBORN—
- ・ 君も名探偵 スポーツの祭典で宇宙を学ぶ
- ・ サイエンス ZERO 奇跡の地球
- ・ 懐メロで脳活 昭和音楽で紡ぐ宇宙開発
- ・ 重力～宇宙を支配する謎のチカラ～

〈ファミリー番組〉

- ・ かいけつゾロリ～ZZ（ダブルゼット）のひみつ～
- ・ 名探偵コナン—探偵たちの星月夜—
- ・ 市制123周年記念 アースメッセージ ～かけがえのない惑星（ほし）～
- ・ ごん／GON, THE LITTLE FOX
- ・ 市制123周年記念 あなたが選ぶもう一度見たいファミリー番組 1・2・3

- ①クレヨンしんちゃん 星空と学校の七不思議だゾ！
- ②かいけつゾロリ ～ZZ（ダブルゼット）のひみつ～
- ③ムーミン谷のオーロラ

・ポラリス

〈夜間特別投映〉

- ・花鳥風月 星ごよみ
- ・ハナビリウム ～花火ってなんであるの？～
- ・時を刻むこの星空 with DREAMS COME TRUE
- ・To the GRAND UNIVERSE 大宇宙へ music by 久石 譲
- ・億の星みち 季節☆トコロ変ワレバ…

〈幼児番組〉

- ・なないろどうわ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止。中止の回はファミリー番組を投映。

2. 天文教育普及活動事業

天文教育研修、ガリレオ教室、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。また、市内の中学生を対象にプラネタリウム番組を学習として観覧できるように学習参加券を配布した。

3. 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示とデジタルシミュレーションをタッチパネルなどで操作できるモニターの設置、太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。また、プラネタリウム番組に関連して、宇宙エレベーターモデルなどの展示を行った。

4. 移動天文車「きらら号」

口径20cmの天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録47人）が参加協力をする。また、天文現象（流星群など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。また、市民公園での観望会では、平成30年に寄贈され口径25cmの天体望遠鏡も活用している。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。令和2年度は定例会を2回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17

年4月に米蔵の跡地に展示棟兼収蔵庫を併設し、資料館として開館している。

●施設概要

所在地 四日市市楠町本郷 1068 番地

敷地面積 1,229.23 m² (資料館 932.23 m²、駐車場 297 m²)

建築面積 338.09 m² 延床面積 448.24 m²

構 造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ²	(四日市市指定有形文化財)
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ²	(四日市市指定有形文化財)
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²	
	展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺2階建	196.65 m ²	

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟兼収蔵庫：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月15日～5月18日まで臨時休館

平成27年度：10,365人 平成28年度：8,102人 平成29年度：7,536人 平成30年度：6,731人

令和元年度：6,325人 令和2年度：2,509人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、写生大会・小中学生自由研究作品展、おひなまつりコンサート、ミニ門松づくり、企画展示コーナー作品展(市内外の文化サークル)、つるし雛とちりめん遊び展、語り部事業など

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夜間特別開館（夏、秋）とおひなまつりコンサートは中止

・ 図 書 館

● 施設概要

- ・ 所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・ 敷 地 4,738.01㎡
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
- ・ 開 館 昭和48年7月10日
- ・ 建物面積 延4,147.42㎡

(令和3年3月末現在)

1階	一般成人室	11席 (新聞雑誌コーナー・参考図書コーナー・軽読書コーナー)
	児童室	27席
	点字・録音資料室	6席
2階	一般閲覧コーナー	17席
	地域資料室	5席
	郷土作家コーナー	4席
	インターネットコーナー	2席
	展示コーナー	なし
	視聴覚ホール	100席 (現在、利用中止)
3階	学習室	47席
	個人学習コーナー	40席
	スナックコーナー	12席 (図書館用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	10席
	研修室	4席

● 業務内容

開 館 時 間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 (午後5時以降は一般成人、地域資料室のみ) 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休 館 日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間 (6月中の約10日間)、年末年始
館 外 貸 出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自 動 車 文 庫	市内に91カ所の停車場を設け、2台の自動車文庫で月1回 (8月を除く) 巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資 料 複 写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料:白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料 (一部を除く) に限る。
資 料 相 談	電話、文書、来館のいずれも可

● 令和2年度事業報告

幅広く豊富な蔵書があり、人と本をつなぐ司書がいる「市民みんなの図書館」として、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、市民ひとり一人のニーズに対応できる読書環境づくり、生涯学習の場づくりに努めました。また、図書展示や読書講座の開催、子育て支援のための取り組みなどを通してより多くの市民が利用する図書館となるよう努めました。

1. 図書資料の整備を図り、17,918冊の図書資料を受け入れた。
2. 人権・同和関係資料の収集・提供に努めた。
3. 点字・録音資料の充実を図るとともに、点訳及び音訳基礎講座を開催して図書館サービスの啓発に努めた。また、活字での読書が困難な方に対しては対面読書ができる状況を整えており、小さな文字が見えにくい方に対しては、拡大読書器や大活字本を整備している。
4. ボランティアや職員による読み聞かせや、各種講座を充実させることにより、図書館利用者の拡大を図った。また、テーマに沿って資料を展示する企画展示や、公共施設の事業と連携した関連図書の紹介など、蔵書の広報に努め、市民が読書に親しめるよう工夫した。
5. なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館と連携を図った。また、指導課から担当1名が派遣され、なのはな文庫の管理運営や幼稚園への大型絵本の配送などに従事した。さらに、事業として、小学校への自動車文庫派遣、図書館司書による児童への読み聞かせ等を行った。
6. 新型コロナウイルス感染症対策として、館内換気、図書消毒機やアルコール消毒機の設置、三密防止のために座席数の削減を行い、利用者の方が安心して利用できる環境づくりに努めた。また、読み聞かせやおはなし会、各種講座についても、人数制限や感染症対策をとりながらできる範囲での開催に努めた。緊急事態宣言に伴い休館としたが、開館後の図書館サービスの適切な提供により、休館前と変わらない利用状況に戻すことができた。

● 月別事業実施表

月	事業名
7	向陽台高等学校出前講座(10日)／夏休み絵本の読みきかせ(18日)／夏のおはなしびっくりBOX(22日)／リサイクル工作 in 図書館(23日)／手づくり絵本講座(29・30・8月5日)／「読書に関するエッセー」作品募集(～10月18日)
8	子ども点字教室(21日)
9	子育てコンシェルジュ来館(24日)
10	おしゃべりえほんの会(1日)／中央小学校自動車文庫派遣(2日)／日永小学校自動車文庫派遣(6日)／子育て支援担当者学習会出前講座(15日)／四日市農芸高等学校出前講座(20日・11月13・27日)／手づくり絵本講座作品展示(21日～11月1日)
11	トークライブ「コマヤスカンの絵本ができるまで」(3日)／点訳・音訳基礎講座(7・14・21日)／下野小学校自動車文庫派遣(12日)／講座「図書館で旅鉄プラン作り」(15日)／秋の絵本の読みきかせ(21日)／子育てコンシェルジュ来館(26日)／はじめのいっぽ(29日)
12	大谷台小学校自動車文庫派遣(1日)／三河図書館研究協議会司書派遣(2日)／向陽台高等学校出前講座(11日)／冬のおはなしぎんのかい(13日)／学童保育所向け新刊児童書展示(16・17日)／中部地区市民センター出前講座(18日)／読書に関するエッセー表彰式(20日)／冬のおはなしびっくりBOX(23日)
1	おしゃべりえほんの会(15日)
2	常磐小学校出前講座(4日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(6日)／子育てコンシェルジュ来館(25日)

3 四日市市学童保育連絡協議会指導員会司書派遣(16日)／春のおはなしと読みきかせ(26日)／桑名市中央図書館司書派遣(26日)／春のおはなし会(27日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止（令和2年2月26日～6月30日）

● 過去3年間の利用状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
開館日数		283	270	252
入館者数	年間総数	262,965	258,256	189,371
	1日平均	929	957	751
登録者数	総登録者数	55,448	38,167	36,177
	個人登録者(※1)	54,948	37,699	35,681
	(うち15歳以下)	(10,349)	(8,220)	(7,594)
	団体登録者	313	312	331
	点字・録音(個人/団体)	48/139	31/125	34/131
	個人登録率(%) (※2)	17.7	12.1	11.5
貸出者数	貸出者総数	243,992	239,566	210,741
	本館	233,233	228,660	201,216
	自動車文庫	10,159	10,401	9,032
	点字・録音	600	505	493
貸出冊数	貸出冊総数	921,384	900,785	790,617
	本館・(※3)	858,624	838,569	737,751
	(うち雑誌)	(23,685)	(22,839)	(27,511)
	自動車文庫	62,010	61,590	52,265
	(うち雑誌)	(879)	(800)	(769)
	点字録音資料室	750	626	601
	録音	645	574	561
	点字	105	52	40
	市民1人当り貸出数	3.0	2.9	2.5
調査相談件数	総数	7,910	7,791	6,526
	口頭	7,849	7,740	6,451
	電話	51	41	68
	文書・メール	10	10	7
予約 リクエスト	総数	66,545	63,950	68,424
	本館(窓口)	16,336	15,404	13,339
	本館(インターネット)	42,586	41,745	48,719
	自動車文庫	7,623	6,801	6,366
複写	件数	2,316	1,572	599
	枚数	14,019	7,460	3,743
人口	(各年度の3月31日現在)	311,431	311,527	310,610

- ※1 個人登録者は、5年以上未利用者数を除く
- ※2 個人登録率＝（個人登録者＋点字・録音個人）÷人口
- ※3 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

● 蔵書統計（令和3年3月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	9,613	13,565	-3,952	297,392
本館児童	3,010	2,671	339	95,962
本館外国語（成人・児童）	122	306	-184	3,730
本館雑誌（成人・児童）	2,411	1,930	481	24,807
点字・録音資料	91	0	91	4,520
自動車文庫	2,578	2,067	511	29,724
自動車文庫雑誌	93	100	-7	430
総計	17,918	20,639	-2,721	456,565

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	174	42	132	9,015

● 図書購入費（当初予算）の推移

（千円）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総額	168,019	139,640	134,112
図書費	26,420	26,625	26,625
その他資料費	3,361	3,430	3,430

・学校人権教育

人権問題を解決する行動力を育成するための人権教育の充実

人権問題を自らの問題と捉え、身近なことから取り組むとともに、主体的に自己選択・自己決定し、問題を解決する行動力の育成を図ることにより、子どもたちの現在及び将来における自己実現を目指します。また、教職員の人権意識を高め、人権教育における指導力向上を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進を図ります。

1. 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「第3次四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
2. 各中学校区の「子ども人権フォーラム」でねらいとする【子どもにつけたい力】が、それぞれの小中学校の全ての学年に系統的に位置づけられた人権教育年間指導計画（人権教育カリキュラム）の作成に努める。
3. 校内研修において教職員の学習機会の充実のため、学校人権教育推進人材バンク登録者（人権教育リーダー育成研修修了者）等を活用し、OJTの促進を図る。
4. いじめや差別のない学校づくりに向けて、教職員・保護者を対象に一人一人の人権意識を高める研修を継続する。
5. 中学校区単位で、子ども人権フォーラム・授業交流・情報交換会等の実践を通じて、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
6. 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子ども・性的少数者等個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
7. 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防ぐための動画や資料を作成し、児童生徒一人ひとりが安心して生活が送れるよう、学校での活用を推進する。
8. メディア・リテラシーを身につけ、自他の人権を大切にするための「メディア・リテラシー養成を通じた人権教育」の取組を推進する。

□幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集
（対象：保育園児、幼稚園児、こども園児、小学生、中学生、高校生）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生）
- ・ 中学校区子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／22中学校区で随時開催）
- ・ 人権のひろば展（12月開催／展示内容：人権啓発ポスター）

□教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員）…実施
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員）……実施
- ・ 人権教育実践研修会（対象：小・中学校教職員）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員 29 名／3 回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：小・中学校教員約 50 名）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

□いじめや差別をなくす人権意識向上事業

- ・ リーフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～」(保護者編)

□指導用図書及び啓発資料の配付

- ・ 人権啓発カレンダー
- ・ 四日市市人権作文集（第 28 集）
- ・ 人権学習教材集 ～新型コロナウイルス感染症を通して学ぶ～

□県・市人権教育推進事業

事業名	対象	期間
市人権教育推進校指定事業	中部西小、浜田小、日永小、常磐小、泊山小、常磐西小、大谷台小、三滝中、西朝明中、楠中	1 年
子ども人権文化創造事業・自己実現支援事業	日永地区、常磐地区、保々地区、神前地区の子ども人権文化育成協議会	1 年
市中学校ブロック人権文化創造事業	全中学校ブロック（中学校区の全校園）	1 年
〔県補助事業〕 学校支援地域本部推進事業	西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区（大池中学校区）、楠中学校区、三滝中学校区	1 年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・電話番号	建設年月日	構造	建物延べ面積 (㎡)	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 351-7609	S50.11.7	RC造 2F	260.43	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
赤堀児童 集会所		S52.3.31	RC造 2F	310.13	1階 ホール、幼児室、事務室 2階 図書室、学習室
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 346-2803	S48.9.30	RC造 2F	253.26	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31	S造 平屋	258.17	ホール、学習室、図書室、幼児室 相談室
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 339-0909	S48.3.15	RC造 2F	301.00	1階 事務所、相談室、料理実習室 2階 ホール、図書室

小牧児童 集会所	339-1287	S50.3.31	S造 平屋	491.96	学習室、図書室、集会室
人権プラザ 神前	寺方町2281 326-0840	S50.4.30	RC造 2F	338.86	1階 事務所、料理実習室、相談室、談 話室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 326-5022	S52.8.31	S造 平屋	562.39	ホール、学習室、図書室、幼児室、図 工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 326-4236	S52.5.25	S造 平屋	227.48	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 四日市市登校サポートセンター
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 四日市市登校サ ポートセンター

● 業務内容（令和2年度）

事業名	内容
研究	○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	○ 教職員研修の企画・運営 （教職員研修講座の企画・運営、「教師力向上のために」による自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員・ベテラン教員研修の推進等） ○ 三四教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	○ 三四教育発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 企業連携・大学連携事業・JAXA連携事業の実施（連絡・調整等）

教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援(来所相談、学校・園への巡回相談(就学相談を含む)、電話相談、他の相談機関との連携調整) ○ 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し